

2023年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

放課後等デイサービス事業所やまびこクラブ

公表：2024年 2月26日

		項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		人数が多い時は活動のやり方を工夫しています。	運動するスペースとしては少し狭い部分があるので、公共機関を活用しながら機会を設けていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1	1	兼務職員を活用しながら、適切な職員を配置して支援しています	職員の人数によって活動内容が制限されるときがありますので、活動内容を工夫しながら対応していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1	スロープはないが、滑り止めマットや玄関に手すりを設置しています。	
業務改善	④	PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2			実施後の振り返りに改善が必要と考えています。打ち合わせ時間はありますが、継続していない時もあります。
	⑤	保護者向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1			保護者の方には、サービス評価やアンケートをお願いし、業務の改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか。	1	2	3		第三者委員会を毎年実施しておりますので、評価について職員で共有していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			外部講師に依頼をして、職員の研修機会を確保しています。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3		行動チェックシートを活用しています。	実施しているものの、職員間で周知できていない部分があるので、会議やミーティング等で周知していくようにしていきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		2		行動チェックシートを活用して子どもの状況を把握しています。アセスメントツールを利用し始めているが、活用までに至っていないので、

適切な支援の提供							早急に整備していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		週リーダーが立案したプログラムに対して職員の助言を受けて、チームで取り組んでいます。	活動内容が固定化しないように年間ごとで活動プログラムを設定し、週目的を変更して取り組んでいきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			固定化されないようにミーティング等で打ち合わせをしています。	プログラムの目標、目的が同じようにならないように年間でプログラムを設定し、週で目的を変更して取り組んでいきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			将来の余暇や趣味につながるような活動を組むようにしています。	休日、長期休み等、利用時間が長い時でなければできない内容と平日でやれる内容と使い分けて対応していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			子どもの体調や状況に合わせ、個別活動と集団活動を組み合わせて作成しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			活動プログラムや子供の状況について、支援開始前に打ち合わせをしています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	1		送迎や預かり等で職員の勤務形態が異なるため、支援終了後の打ち合わせは難しいので、翌日のミーティングで利用児の状況や支援について話し合いをしていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	2	2		記録内容について、状況が伝わりづらいことがあるので、第三者がみてもわかりやすいように書式の検討をしていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1			ガイドラインの総則に沿って支援しているが、チームとして同じ方向性で進めているか確認していきます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラ	4	2			学校と情報共有はできているものの、双方の時間的な都合で面談の場を設定するの

関係機関や保護者との連携		ブル発生時の連絡)を適切に行っているか					が難しいので、引き渡し等で共有していきます。
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	4		現在、契約者に医療ケア児はいないものの、受け入れをする場合は体制を整えています。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2			当事業所は対象児が中・高校生なので、就学前の情報共有はしていないが、他事業所から移行している児に関しては情報提供してもらい受け入れをしています。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		就労先に対して依頼された場合に情報提供しています。	相談支援事業所と連携しながら事業所側からも積極的に情報共有するよう働きかけています。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1			
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	市や学校で主催する行事には積極的に参加しています。	地域の社会資源を活用しながら交流する機会を検討していきます。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6				園長、児発管が参加し、その状況を職員に伝達していきます。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			年に1~2回面談の機会を設け、デイサービスの様子や家、学校での様子に情報共有しながら、共通理解をしています。	事業所内で展示会を開催し、普段の活動の様子を撮った写真や作品を通じてデイサービスでの様子を伝えていきます。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	将来に向けて見通しが持てるよう相談支援員に依頼して福祉制度等についての勉強会をしています。	
保護者への説明責	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			年1回説明会を実施しており、その時にお伝えしています。	説明会に参加できない保護者に対しては個別でお伝えしていきます。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				年1~2回、個別面談を行っており、必要に応じて助言と支援を行っています。また、個別面談以外で保護者から要望があったら、随時面談を随時、助言、支援をしています。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者	4	2			父母会は組織されてないが、

任 等		会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか					行事や勉強会、座談会を通じて保護者同士の交流をしています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		苦情があった場合は迅速に対応しています。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				定期には会報を発行して、保護者に発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた施設運営を行っているか。	4	2			新型コロナウイルスが5類へ移行したので、感染予防対策としながら、地域住民を招待する行事等を検討していきます。
非 常 時 な ど の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			マニュアルを策定して、説明会で保護者に周知しています。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		活動の中で、必要な訓練(地震・火災)を実施しています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		研修や未然防止のための虐待防止委員会や職員会議等で話し合っています。	虐待について職員によって認識が違う部分があるので、共有化を図るために周知の方法を検討していきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			個別支援計画に反映しています。	個別支援計画に記載されていますが、身体や心の変化に伴い、見直しが必要となっていくますので確認をしながら進めていきます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	2	事業所の会議等でヒヤリハットの事例を共有しています。	ヒヤリハットの認識が職員によって違う部分があるので、共有化を図っていきます。